

2018年6月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 国家評議会の開催
- (2) 人民権力全国議会第9立法期特別会合の開催
- (3) 閣僚評議会の開催
- (4) 人民権力全国議会第9立法期第1通常会期の招集

2 外交

- (1) フレイク米上院議員及びエマーソン・ゲーグル社会長の来訪
- (2) ゲエン・タイン・フォン・ホーチミン市（ベトナム）人民委員長の来訪
- (3) ロドリゲス農業大臣の中国訪問
- (4) グティエレス前キューバ日本友好議員連盟会長への叙勲
- (5) プリエト文化大臣のベルギー訪問
- (6) サボリド高等教育大臣のアルゼンチン訪問
- (7) オルギン・コロンビア外務大臣の来訪
- (8) クラビホ・カナリア自治州（スペイン）知事の来訪
- (9) 米国・キューバ第7回二国間委員会の開催
- (10) コヴィンド・インド大統領の来訪
- (11) キューバ保健省代表団の訪日
- (12) サルマディ・イラン筆頭外務次官兼大統領特使の来訪
- (13) ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長への信任状捧呈

【本文】

1 内政

(1) 国家評議会の開催

2日、国家評議会が開催され、人民権力全国議会の立法機能の強化、国家評議会及び閣僚評議会の活動計画、憲法草案作成委員会の設立等について話し合われた。

(2) 人民権力全国議会第9立法期特別会合の開催

2日、ラウル・カストロ共産党第一書記、ディアスカネル国家評議会議長出席の下、人民権力全国議会第9立法期特別会合が開催された。

同会合において、10の委員会の幹部及び委員が決定された。議員の内380名がこれらの委員会に所属し、その内57.63%である219名が女性。また、日本を含めた93の友好議連が承認された。

同会合において、ラウル・カストロ共産党第一書記が憲法草案作成及び提出を担当する委員会委員長を務めると決定された。草案は人民権力全国議会で審議された後、最終的には国民投票に掛けられる。

アルテミサ県及びマジャベケ県で地方議会と行政組織との分権に関する実験が実施され、その分析結果として様々な分野で経済社会に好ましい影響があったとされた。

(3) 閣僚評議会の開催

21日、ディアスカネル議長出席の下、閣僚評議会が開催され、2018年上半期の経済情勢、2017年決算、外国資本誘致などについて議論が行われた。

(4) 人民権力全国議会第9立法期第1通常会期の招集

28日、ラソ人民権力全国議会議長が人民権力全国議会第9立法期第1通常会期を7月21日から召集すると報道された。同議会常設委員会は7月18、19、20日に通常会合とキューバ憲法草案の検討を行う。

2 外交

(1) フレイク米上院議員及びエマーソン・グーグル社会長の来訪

4日、フレイク米上院議員及びエマーソン・グーグル社会長がキューバを訪問した。

ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長との会談では、キューバ・米国二国間関係情勢や相互に関心のある協力分野について意見交換が行われた。米国側にはフィリップ・ゴールドバーグ在キューバ米国臨時代理大使が、キューバ側にはロドリゲス外務大臣及びフェルナンデス・デ・コシーオ外務省米国総局長がそれぞれ同席した。

また、ロドリゲス外務大臣との会談では、キューバ・米国関係及び最近の同関係の逆行による悪影響について対話を行ったほか、現下の国際情勢についても話し合った。ロドリゲス外務大臣は、両国関係改善を支持する議論に貢献することへの関心に謝意を表明した。米国側にはフィリップ・ゴールドバーグ在キューバ米国臨時代理大使及びブレット・パールミュッター・グーグル社会長顧問が、キューバ側にはフェルナンデス・デ・コシーオ外務省米国総局長及びタブラダ・デ・ラ・トーレ同総局次長がそれぞれ同席した。

(2) グエン・タイン・フォン・ホーチミン市（ベトナム）人民委員長の来訪

6日から7日、グエン・タイン・フォン・ホーチミン市人民委員長兼ベトナム共産党副書記がキューバを公式訪問した。

リカルド・カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣との会談では、経験の共有や投資・協力計画の交渉について達成された成果を評価した。

(3) ロドリゲス農業大臣の中国訪問

6日から7日、グスタボ・ロドリゲス農業大臣は中国を訪問し、Yu Xinrong 中国農業農村部副部長と会談した。

(4) グティエレス前キューバ日本友好議員連盟会長への叙勲

8日、カルロス・グティエレス前キューバ日本友好議連会長へ平成30年春の外国人叙勲にかかる勲章伝達式を実施した。本叙勲は、グティエレス前会長が、日本・キューバ間の人的交流、経済関係及び相互理解の発展に多大なる貢献をしたことを称えるもの。渡邊駐キューバ日本国大使は、授与式の挨拶において、長年にわたる日本・キューバの関係緊密化に対するグティエレス前会長の尽力に感謝の意を述べた。

伝達式には、アナ・マリア・マリ・マチャード人民権力全国議会副議長、ジョランダ・フェレル人民権力全国議会国際関係委員長、エウセビオ・レアル・ハバナ歴史事務所長、エドゥアルド・マルティネス・キューバ日本友好議連会長等が出席した。

(5) プリエト文化大臣のベルギー訪問

9日、アベル・プリエト文化大臣は、欧州委員会の招待により「文化遺産と女性の視点から見た創造力」というパネル・ディスカッションに出席するため、ベルギーを訪問した。

プリエト大臣はベルギー滞在中、Abdul Karim ブルキナファソ文化大臣とも会談した。

(6) サボリド高等教育大臣のアルゼンチン訪問

11日から15日、ホセ・サボリド高等教育大臣は、第3回高等教育地域会議(CERES2018)に出席するため、アルゼンチンを訪問した。

(7) オルギン・コロンビア外務大臣の来訪

13日から15日、マリア・オルギン・コロンビア外務大臣はコロンビア政府と国民解放軍(ELN)間の第5回和平交渉に出席するため、キューバを訪問した。

(8) クラビホ・カナリア自治州(スペイン)知事の来訪

13日から15日、フェルナンド・クラビホ・カナリア自治州知事がキューバを訪問した。クラビホ知事は、カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣及びロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣とそれぞれ会談し、再生可能エネルギーや観光分野における協力を強化していくことについて意見交換した。

(9) 米国・キューバ第7回二国間委員会の開催

14日、ワシントンDCにおいてキューバと米国の間の第7回二国間委員会が開催された。同会合は、ここ数ヶ月の間に行われた交流・協力分野に関して確認し、その他の分野

における可能性の進捗について強調する場となった。

キューバ代表団は米国による二国間関係を後退させる動きを拒否し、両国国民、キューバ人移民、地域及び国際社会に与える否定的な影響を喚起した。また、米国による経済・貿易・金融封鎖が引き続き二国間関係の改善に向けた全ての兆しの根本的な妨げになっていることを繰り返すと同時に、特に国外適用という特徴を持った追加的な金融封鎖措置による制裁の強化を非難した。さらに、キューバ代表団は、米国政府に対し、健康被害を訴える継続した政治的不正操作をやめるよう強調した。

キューバ代表団はカルロス・フェルナンデス・デ・コシーオ外務省米国総局長が、米国代表団はジョン・クリーマー西半球担当国務次官補代理がそれぞれ代表を務めた。

(10) コヴィンド・インド大統領の来訪

21日から22日、ラーム・ナート・コヴィンド・インド大統領はキューバを公式訪問した。

22日、コヴィンド大統領はサンティアゴ・デ・クーバにあるフィデル・カストロの墓を参拝した。同大統領は、キューバへの初訪問としてサンティアゴ・デ・クーバの空港に降り立ちジョンソン国家評議会副議長兼サンティアゴ・デ・クーバ県人民権力県議会議長に迎えられた後、すぐに墓地へ向かった。

ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長との会談では、和やかな雰囲気の中で、両者は両国民・政府間に存在する友好の絆を反映する二国間関係の良好な状態への相互の満足を表明し、経済貿易、投資、科学技術、再生可能エネルギーといった様々な分野で関係を強化し続けるとの関心で一致した。また、国際場裡のアジェンダについても話し合われたほか、会談後、両首脳出席の下、バイオテクノロジーと健康の分野の2つの覚書が署名された。

インド側はヴィシュヌ・デオ・サイ鉄鋼副大臣、ディネシュ・カシャブ下院議員、ニタナンド・ライ下院議員、マドウ・セティ駐キューバ・インド大使が、キューバ側はロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、シエラ外務次官、マルティネス駐インド・キューバ大使がそれぞれ同席した。

また、コヴィンド大統領は、遺伝子工学バイオテクノロジーセンター（CIGB）も訪問した。訪問に同行したマルティネス・ピオ・クーバ・ファルマ総裁は、バイオテクノロジー分野で、新製品の発展と工場建設のための合意が署名されたと発表したほか、マリエル開発特区における合弁企業設立に向けた交渉を実施していると表明した。さらに、コヴィンド大統領はハバナ大学において講演も実施した。

(11) キューバ保健省代表団の訪日

26日、キューバ保健省、キューバ医療サービス公社、アメイヘイラス病院のメンバーで構成される代表団は、日本の政府当局、医療機関関係者、企業等の参加の下開催された

キューバ医療システム及び二国間の本分野における協力と商取引に係るセミナーに出席した。同セミナー開会式で、小松メディカル・エクセレンス・ジャパン（MEJ）副理事長は、キューバとの協力拡大への関心を示したほか、厚生労働省医政局幹部及び経済産業省国際展開推進室長は、アメイヘイラス病院を拠点とする、日本の高い技術力とキューバの専門性が組み合わされる、キューバへの医療センター設置事業の進捗に言及した。

キューバ側代表团は、日本滞在中、国立がん研究センターも往訪した。

（１２）サルマディ・イラン筆頭外務次官兼大統領特使の来訪

２７日、サルマディ・イラン筆頭外務次官兼大統領特使がキューバを訪問した。サルマディ特使はカブリサス閣僚評議会兼経済・企画大臣と会談し、ローハニ大統領からディアスカネル国家評議会議長へのメッセージを伝達するとともに、両国間の経済・貿易・協力関係の拡大に向けた意見交換を行った。また、サルマディ特使は、ロドリゲス外務大臣、マルセリーノ・メディーナ外務第一次官とも会談した。

（１３）ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長への信任状捧呈

２９日、ディアスカネル国家評議会議長は、ロドリゲス外務大臣同席の下、ケニア、パナマ、モザンビーク、ポルトガル、ラオス、モロッコ、スロバキア、ジャマイカ、インドの駐キューバ各国大使から信任状の捧呈を受けた。捧呈式後、各国大使は革命広場のホセ・マルティの像に献花した。なお、これまでは国家元首ではなく国家評議会副議長等が信任状を受領していた。